

小学校第 6 学年

国語 A

注 意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 国語の問題は1ページから15ページまであります。算数の問題は裏側の表紙から始まり、1ページから12ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒えんぴつ（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、次のとおりです。
 - ・ 国語 A 20 分間
 - ・ 算数 A 20 分間
 - ※ それぞれの時間になったら、合図があります。
 - ※ 国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
 - ※ 解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、男女、個人番号①、個人番号②をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかがやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るく、まわりをあたためることもできるからです。

野村 私のグループも、明るくというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかがやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

（報告が続く）

(問い) 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 話し合って一つにまとまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これから、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア

ウ

イ

一 松本さんは、【山村さんへの手紙】の の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いている。
- 2 今と昔の生活のちがいについて、体験して気づいたことを書いている。
- 3 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いている。
- 4 見学をして新たに疑問に思ったことを書いている。

二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。【山村さんへの手紙】の

 ・

 ・

 の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | ア | 自分の名前 | イ | 日付 | ウ | 相手の名前 |
| 2 | ア | 日付 | イ | 相手の名前 | ウ | 自分の名前 |
| 3 | ア | 相手の名前 | イ | 日付 | ウ | 自分の名前 |
| 4 | ア | 日付 | イ | 自分の名前 | ウ | 相手の名前 |

問題は、次のページに続きます。

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【資料】 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

「時の記念日」はどんな日？

- 1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
- 2 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
- 3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
- 4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
- 5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

(問い)

小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

小野さん……

今村さん……

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな

小林 一茶

〈調べた内容〉

季語…雪とけて 季節…春

この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風

上島 鬼貫

〈調べた内容〉

季語…秋の風 季節…秋

この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」が

おもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。

「くりくり」というのは、月の(A)を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間

イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。(音読)

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木

そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西

作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

一 中西さんは、【話し合いの様子】の（ A ）でどのように発言したでしょうか。（ A ）に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 かすんでいる様子
- 2 まっ白い様子
- 3 まんまるい様子
- 4 欠けていく様子

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと

5

古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次の

ア

イ

に入ることわざの使い方例として最も適切なものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

三度目の正直

(意味)

一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

(使い方例)

ア

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

3 一本めと二本めのシュートは外れたけど、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

もちはもち屋

(意味)

何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ。

(使い方の例)

イ

1 もちはもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、しゅみはいろいろあった方がよい。

2 もちはもち屋と言うように、卓球^{たつきゅう}の審判^{しんぱん}なら卓球クラブの友達にたのむ方がよい。

3 もちはもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。

谷川さんは、歌舞伎※1の作品「外郎売」※2を音読して、気がついたことをノートにまとめています。
 次は、音読した【「外郎売」の一部】と【ノートの一部】です。谷川さんが気がついたことの説明として
 最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【「外郎売」の一部】

がらびいがらびい風車かざぐるま
 おきやがれこぼし
 おきやがれこぼし
 ゆんべもこぼして
 またこぼした
 たあぶぽぽ たあぶぽぽ
 ちりから ちりから
 つったつぽ

【ノートの一部】

○音読して、気がついたこと

- ・くりかえしが多い。
- ・似ている言葉がある。
- ・早口言葉のようでおもしろい。
- ・拍子ひょうしを取りたくなる。

※1 「歌舞伎」……約四百年前に始まった演劇えんげき

※2 「外郎売」……「外郎」という漢方薬を売り歩く人

1 使われている言葉やリズム、声に出したときの感じをまとめている。

2 言いかえが多いので、意味がとらえにくくなっていることをまとめている。

3 昔の人々の声の出し方のちがいに注目して、昔と今のちがいをまとめている。

4 くりかえし出てくる言葉を、どのように読むと分かりやすいかをまとめている。

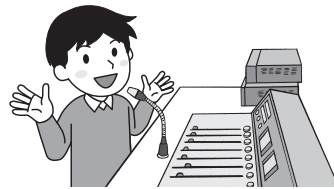
4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

- 1 日時 2月19日（月）～2月22日（木）
10時25分から10時45分まで

- 2 集合場所
多目的ルーム



- 3 参加 ⁽¹⁾たいしょう
4年生の ⁽²⁾きぼう者

- 4 申し込み ⁽³⁾期限と申し込み方法
- ・ 2月14日（水）までに申しこんでください。
 - ・ ⁽⁴⁾事務室前に申し込み用紙と箱が ⁽⁵⁾おいてあります。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れてください。

- 5 お願い
- ・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の ⁽⁶⁾指示にしたがってください。

これで、国語Aの問題は終わりです。

注 意

合図があるまで、次のページを開かないでください。

